

研究No. (記載不要)	— —
-----------------	-----

平成 25 年度配分 研究成果発表報告書(実績)

研究名	専門科目への英語教育導入に関する研究				
配分を受けた 特別研究費	2,340 千円				
研究者氏名 (代表者)	学部名	学科名	職	氏 名	共同研究者
	デザイン学部	生産造形学科	教授	高山靖子	他 4 名
発表の方法	1 紀 要 名 称: 静岡文化芸術大学紀要 VOL.13 2012			号 数	第 13 号 (85 頁～ 89 頁) (2013 年 3 月発行)
	2 学会等での発表 学会等名: DRS2013(査読付き) IASDR 2013(査読付き)			発表日	DRS2013 平成 25 年 5 月 14 日 IASDR 2013 平成 25 年 8 月 30 日
	3 その他 発表の方法:			発表日	平成 年 月 日

※ 学会等での発表及びその他の場合は、学会報等発表を証する資料を添付すること。

※ 配分を受けた翌年度の 3 月末までに提出

(研究の目的等)

静岡文化芸術大学の国際人教育の充実を図るとともに、国際人育成機関としての対外的なイメージアピールを狙うため、専門科目に対して英語教育を導入するための実践的な英語教育プログラムの確立を目指す。そのための学習プログラムと学習ツール（教科書）を作成する。

(研究の実施方法等)

学内における専門科目の中での英語プログラムの試行とともに、国内の専門科目への英語教育導入事例の調査を行った。また、本学と共通の専攻を持つ海外の大学のプログラムを調査した。

これをもとに、海外(トルコ)の大学との英語によるコラボレーションプログラムのための事前英語教育を行い、専門英語教育に必要なデザイン英語テキスト作成のためのデータを収集した。

(得られた成果等)

学習プログラムとその成果について論文を執筆し、静岡文化芸術大学紀要等やデザイン系の国際会議等で発表を行い、他大学との情報交換を行った。これをきっかけに、スカイプというインターネット通信ツールを使用した海外の大学とのコラボレーションプログラム開発へとつなげ、デザイン学部学生の英語学習方法を開発し、英語学習への意欲を喚起することに成功した。

また、このプログラムは、文化政策学部の学生との共同プログラムとし、デザイン学部と文化政策学部という二つの学部のある本学の特性を生かしたプログラムとなった。